

平成29年度～平成38年度
社会福祉法人栗山町社会福祉協議会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人 栗山町社会福祉協議会	法人番号	2430005006914				
法人代表者氏名	会長 橋 一也						
法人の主たる所在地	夕張郡栗山町朝日4丁目9番地36						
連絡先	0123-72-1322						
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	平成29年5月30日						
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年6月10日						
評議員会の承認年月日	平成29年6月15日						
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	6か年度目 (平成34年度末現在)
	39,790 千円	38,090 千円	35,970 千円	33,750 千円	31,480 千円	29,160 千円	25,740 千円
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)		▲1,700 千円	▲2,120 千円	▲2,220 千円	▲2,270 千円	▲2,320 千円	▲3,420 千円
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	7か年度目 (平成35年度末現在)	8か年度目 (平成36年度末現在)	9か年度目 (平成37年度末現在)	10か年度目 (平成38年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額	
	23,270 千円	20,750 千円	18,130 千円	15,460 千円		15,460千円	
うち社会福祉充実事業費 (単位：千円)	▲2,470 千円	▲2,520 千円	▲2,620 千円	▲2,670 千円	▲24,330 千円		
本計画の対象期間	平成29年8月1日～平成38年3月31日						

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	600千円
	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」（地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助）を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	300千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800千円
	小計					
2か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,020千円
	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」（地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助）を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	300千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800千円
	小計					

3か年 度目	職員の 処遇改善事業	社会福祉 事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、 より幅広く、責任を持って地域福祉 事業に従事できるようにする。それ に伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,070 千円
	愛らぶ活動 事業	社会福祉 事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得 て実施している「愛らぶ活動事業」 （地域で日常生活が心配な高齢者等 に対し、除雪や見守り声掛け活動の 活動費を一部補助）を更に充実させ るため、継続した事業展開が出来る ように必要な経費を補助する。	無	350千円
	まちなか カフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐた め、地域に暮らす多世代の方が自由 に参加し、過ごすことができる場づ くりの事業。その会場使用料や運営 協力ボランティアに交通費、運営の 諸経費を補助する。	無	800千円
	小計					
4か年 度目	職員の 処遇改善事業	社会福祉 事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、 より幅広く、責任を持って地域福祉 事業に従事できるようにする。それ に伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,120 千円
	愛らぶ活動 事業	社会福祉 事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得 て実施している「愛らぶ活動事業」 （地域で日常生活が心配な高齢者等 に対し、除雪や見守り声掛け活動の 活動費を一部補助）を更に充実させ るため、継続した事業展開が出来る ように必要な経費を補助する。	無	350千円
	まちなか カフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐた め、地域に暮らす多世代の方が自由 に参加し、過ごすことができる場づ くりの事業。その会場使用料や運営 協力ボランティアに交通費、運営の 諸経費を補助する。	無	800千円
	小計					
5か年 度目	職員の 処遇改善事業	社会福祉 事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、 より幅広く、責任を持って地域福祉 事業に従事できるようにする。それ に伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,170 千円

	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」（地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助）を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	350 千円	
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円	
	小計						2,320 千円
6 か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,220 千円	
	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」（地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助）を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	400 千円	
	車輛購入事業	社会福祉事業	既存	地域福祉事業に必要な車輛の購入する支出。赤い羽根共同募金の助成を申請し、自己負担額を支出する。	無	1,000 千円	
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円	
	小計						3,420 千円
7 か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,270 千円	

	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」(地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助)を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	400 千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円
	小計					
8 か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,320 千円
	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」(地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助)を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	400 千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円
	小計					
9 か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,370 千円

	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」(地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助)を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	450 千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円
	小計					
10か年度目	職員の処遇改善事業	社会福祉事業	既存	当法人の臨時職員の処遇を改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。それに伴い、増額する人件費を支出する。	無	1,420 千円
	愛らぶ活動事業	社会福祉事業	既存	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」(地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助)を更に充実させるため、継続した事業展開が出来るように必要な経費を補助する。	無	450 千円
	まちなかカフェ事業	公益事業	既存	高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、過ごすことができる場づくりの事業。その会場使用料や運営協力ボランティアに交通費、運営の諸経費を補助する。	無	800 千円
	小計					
合計						24,330 千円

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>当法人は、地域福祉事業の推進と職員の資質向上を図る必要性があるため、臨時職員を嘱託職員に処遇改善し、より幅広く、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにし、地域福祉事業の充実を図り、それに伴う、支出をすることとした。</p> <p>また、当法人が行う「愛らぶ活動事業」の実施協力者などから寄せられるご意見や要望の中で、更なる担い手の発掘や継続的な活動の経費を補助する必要性のニーズが強かったため、こうした補助を行うこととした。</p> <p>また、当法人が行う地域福祉事業に使用する車両の老朽化に対応するため、車両を更新する購入経費を補助する。ただし、赤い羽根共同募金等の助成金を活用して、自己負担額の減額に努める。</p>
② 地域公益事業	該当する事業が無いため、実施はしない。
③ ①及び②以外の公益事業	<p>当法人が行う「まちなかカフェ事業」の関係者・利用者・運営協力ボランティアなどから寄せられるご意見や要望の中で、更なる担い手の発掘や継続的な活動をするため、運営協力ボランティアの交通費や会場使用料、不足する備品等の諸経費を支出する必要性のニーズが強かったため、こうした支出を行うこととした。</p>

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
職員の 処遇改 善事業	計画の実施期間における事業費合計	1,800千円	2,220千円	2,270千円	2,320千円	2,370千円	2,420千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	600千円	1,020千円	1,070千円	1,120千円	1,170千円	1,220千円
		補助金	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間における事業費合計	2,470千円	2,520千円	2,570千円	2,620千円	23,580千円		
	財源構成	社会福祉充実 残額	1,270千円	1,320千円	1,370千円	1,420千円	11,580千円	
		補助金	1,200千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	12,000千円	
借入金								
事業収益								
その他								

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
愛らぶ 活動 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	600千円	600千円	650千円	650千円	650千円	700千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	300千円	300千円	350千円	350千円	350千円	400千円
		補助金	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円
		借入金						
		事業収益						
		その他	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間に おける事業費合計	700千円	700千円	750千円	750千円	6,750千円		
	財源構成	社会福祉充実 残額	400千円	400千円	450千円	450千円	3,750千円	
		補助金	150千円	150千円	150千円	150千円	1,500千円	
		借入金						
事業収益								
その他		150千円	150千円	150千円	150千円	1,500千円		

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
車輜 購入 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	—	—	—	—	—	2,300千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	—	—	—	—	—	1,000千円
		補助金						1,300千円
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合計		
	計画の実施期間に おける事業費合計	—	—	—	—	2,300千円		
	財源構成	社会福祉充実 残額	—	—	—	—	1,000千円	
		補助金					1,300千円	
		借入金						
事業収益								
その他								

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	6か年度目	
まちなか カフェ 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他						
	事業費内訳	7か年度目	8か年度目	9か年度目	10か年度目	合 計		
	計画の実施期間に おける事業費合計	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	8,000 千円		
	財源構成	社会福祉充実 残額	800 千円	800 千円	800 千円	800 千円	8,000 千円	
		補助金						
借入金								
事業収益								
その他								

5. 事業の詳細

事業名	職員の処遇改善事業	
主な対象者	当法人の臨時職員	
想定される対象者数	1名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成38年3月31日	
事業内容	当法人の臨時職員を嘱託職員に処遇改善し、より幅広く、また、責任を持って地域福祉事業に従事できるようにする。主にまちなかカフェ事業のボランティアをサポートし、人材育成等を行う。それに伴い、増額する人件費を支出する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	・8月より臨時職員から嘱託職員に処遇改善し、人件費支出を実施。
	2か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	3か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	4か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	5か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	6か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	7か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	8か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	9か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
	10か年度目	・嘱託職員の処遇を維持し、人件費支出を実施。
事業費積算 (概算)	1か年度目：180万円×1名＝180万円 2か年度目：222万円×1名＝222万円 3か年度目：227万円×1名＝227万円 4か年度目：232万円×1名＝232万円 5か年度目：237万円×1名＝237万円 6か年度目：242万円×1名＝242万円 7か年度目：247万円×1名＝247万円 8か年度目：252万円×1名＝252万円 9か年度目：257万円×1名＝257万円 10か年度目：262万円×1名＝262万円	
	合計	23,580千円（うち社会福祉充実残額充当額 11,580千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	愛らぶ活動事業	
主な対象者	栗山町内在住の方	
想定される対象者数	200名	
事業の実施地域	栗山町内	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成38年3月31日	
事業内容	当法人が町内会、自治会の協力を得て実施している「愛らぶ活動事業」（地域で日常生活が心配な高齢者等に対し、除雪や見守り声掛け活動の活動費を一部補助）を更に充実させるため、アンケート調査を実施し、活動に必要な経費を支出し、継続した事業展開を出来るようにする。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	2か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	3か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	4か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	5か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	6か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	7か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。
	8か年度目	・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。 ・町の総合事業への移行を打診

	9か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。 ・町の総合事業への移行を検討
	10か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会、自治会への事業内容周知し、協力いただける地域を増やし、支援体制を整備するサポートをし、活動費の一部の補助を実施。 ・町の総合事業への移行を依頼
事業費積算 (概算)	1・2か年度目 : 60万円 (20町内会・自治会) × 2か年 = 120万円 3・4・5か年度目 : 65万円 (23町内会・自治会) × 3か年 = 195万円 6・7・8か年度目 : 70万円 (27町内会・自治会) × 3か年 = 210万円 9・10か年度目 : 75万円 (30町内会・自治会) × 2か年 = 150万円	
	合計	6,750千円 (うち社会福祉充実残額充当額 3,750千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	車輛購入事業	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成34年4月1日～赤い羽根共同募金等の助成金が支給決定するまで	
事業内容	<p>当法人が行う地域福祉事業に使用する車輛の老朽化に対応するため、車輛を更新する購入経費（赤い羽根共同募金の補助申請をし、その自己負担分）を支出する。</p> <p>※地域福祉事業</p> <p>ボランティアのサポートや人材育成のため、地域に出向くことを含む。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	—
	2か年度目	—
	3か年度目	—
	4か年度目	—
	5か年度目	—
	6か年度目	<p>車輛を更新する購入経費の支出を実施。</p> <p>赤い羽根共同募金等の助成金が支給決定した年度に支出を実施。</p>
	7か年度目	—
	8か年度目	—
	9か年度目	—
	10か年度目	—
事業費積算 (概算)	6か年度目～：230万円×1台＝230万円 (赤い羽根共同募金等の助成金が支給決定するまでの間)	
	合計	2,300千円（うち社会福祉充実残額充当額 1,000千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	まちなかカフェ事業	
主な対象者	栗山町内在住の方	
想定される対象者数	15,000名	
事業の実施地域	栗山町内	
事業の実施時期	平成29年8月1日～平成38年3月31日	
事業内容	<p>当法人が実施している公益事業の「まちなかカフェ事業」は、地域の拠点を活用し、高齢者等の地域での孤立を防ぐため、地域に暮らす多世代の方が自由に参加し、交流しながら過ごすことができる場づくりの事業として実施しております。</p> <p>その事業を更に充実させるため、活動の中心となっている運営協力ボランティアの人材確保や育成をサポートしつつ、交通費支給の充実、拠点となっている会場使用料、運営に必要な備品等の諸経費に財源を充て、事業を充実させながら、継続した展開を出来るようにする。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	2か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	3か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	4か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	5か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	6か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	7か年度目	・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。
	8か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。 ・ボランティアポイント事業への移行を打診
	9か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。 ・ボランティアポイント事業への移行を検討

	10 か年度目	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協力ボランティアの人材確保や育成をするサポート体制を充実するため、必要な運営費を算出し、支出を実施。 ・ボランティアポイント事業への移行を依頼
事業費積算 (概算)	ボランティア交通費 55 万円 (単年度) × 10 か年 = 550 万円 会場使用料 15 万円 (単年度) × 10 か年 = 150 万円 備品等の諸経費 10 万円 (単年度) × 10 か年 = 100 万円	
	合計	8,000 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 8,000 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

当法人では、平成 28 年度決算において、3,979 万円の社会福祉充実残額が発生しましたが、社会福祉充実計画（以下「計画」）中、次の理由により、社会福祉充実残額の全額を使用せず、また、実施期間を 10 か年としております。

【理由】

当法人の事業規模、事業内容及び栗山町内の福祉ニーズ（以下「福祉ニーズ」）を総合的に勘案した結果、社会福祉充実残額のうち 2,433 万円を使用すれば、福祉ニーズを充足できるとの結論に至ったため。

また、福祉ニーズに対応するためには、計画の実施期間を 10 か年とする必要があるとの結論に至ったため。

なお、上記結論については、平成 29 年 5 月 30 日開催の理事会、同年 6 月 15 日開催の評議員会にて承認を得ております。